

第3期教育大綱・第4期教育振興基本計画に掲げる取組を進めた学校のイメージ



ある中学生
Aさんの視点

P. 3



ある小学校教員
Bさんの視点

P. 7



ある高等学校長
Cさんの視点

P. 12

第3期教育大綱・第4期教育振興基本計画のもと、
令和6年度から令和9年度まで取組を進めることで
広げていきたい学校の様子イメージを
生徒、教員、校長の視点で
一部例をご紹介します。



01 | ある中学生Aさんの視点



朝の登校



きょうのきぶんをえらんでください。【かならずえらぶ】

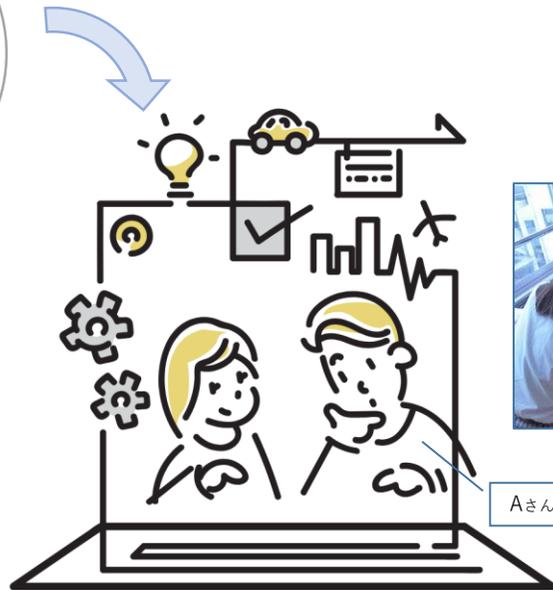
 <input type="radio"/> うれしい。たのしい。	 <input type="radio"/> ふつ。
 <input type="radio"/> つらい。かなしい。	 <input type="radio"/> いらいらする。おこっている。

朝、登校時に、1人1台タブレット端末で、その日の気持ちや体調の状況を入力。
(詳細は「ある小学校教員Bさんの視点」参照)

授業①



前回の授業



一斉授業型で受けた前回の授業の内容を踏まえて、提示された課題について考えを端末でまとめる。
まとめている過程は常にクラウドで、クラス内に共有されているので、他者の意見等を参照したり、時に協力したりしながら、考えをまとめていく。



☆関連動画
「【学んでみた】
高知家まなびばこって
なんだろう。」



※イメージ



デジタルドリルの小テストを解く。
結果等は「高知家まなびばこ」に
スタディログとして集積され、自らの
振り返りにあてることができる。
(教師側の視点は「ある小学校教員
Bさんの視点」参照)

授業②



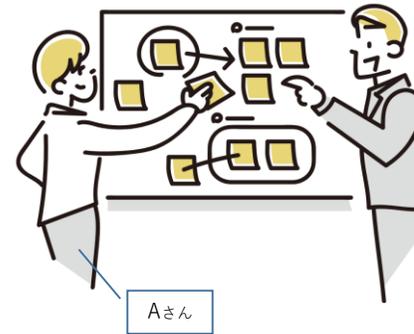
☆関連動画
「きらっといきいき
あったかい
『高知家』の教育」



☆高知県の
特別支援教育
リーフレット

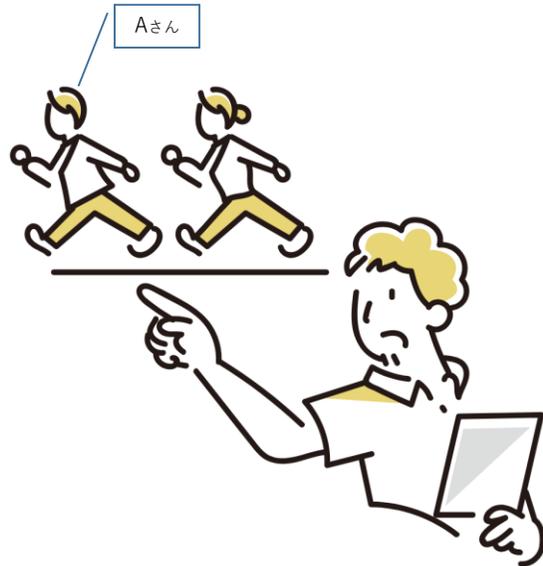


近接する特別支援学校との
交流及び共同学習の実施に向けて
クラス内で話し合い。



総合的な学習の時間に、
地域の課題解決に向けた取組について、
地域にも協力をいただきながら
まとめた成果を発表。

放課後



部活動指導員（地域や外部の方）の指導や、
近接する高等学校との合同練習、
拠点校部活動での指導等を受ける。



その日に実施した授業を
1人1台タブレット端末で復習。
(授業と授業外学習のシームレス化)
「高知家まなびばこ」の授業動画や
「高知これ単」(単語帳)等を活用。

02 | ある小学校教員 Bさんの視点



兆しの早期の把握・支援

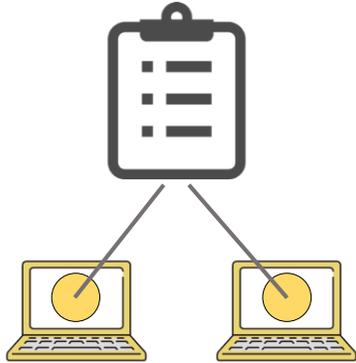


朝の授業前に担任のクラスの児童が入力した「きもちメーター」の状況をチェック。
心配な入力や書き込みをしている児童については、
「声かけ」の準備と、管理職、養護教諭、
スクールカウンセラー等の相談支援体制につなぐことを確認。

授業



☆関連動画
「おじた！少年かつお
と学ぶ『高知家』の教育
～デジタル化～」



Bさん



例えば「体育」の授業。

授業の流れをクラウド上で児童に共有し、
授業の冒頭にポイントを伝えた後は
児童が主体となり進める。

児童がお互いの動きをタブレットで撮影し合い、
動画をもとに、課題の把握や動きの確認、助言する
様子を教員は確認しながら、
個別にアドバイスや評価等を行う。

例えば「社会」の授業。

事前に持ち帰ったタブレットで、
地域の文化や産業について調べ、情報を整理。
そこから見出された課題をクラスで共有。

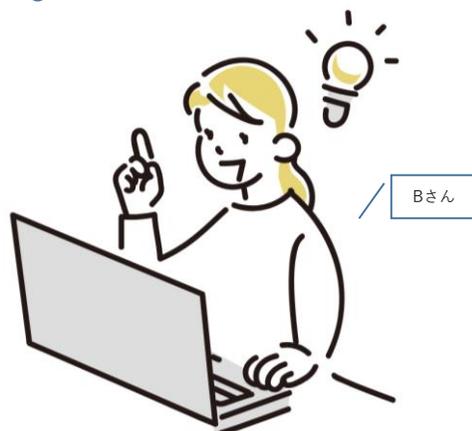
教員は、授業の冒頭に、
インターネットや図書館等での情報の調べ方を教え、
それぞれの児童が自分たちに合った調べ方等で
課題の解決方法を検討。

検討状況は随時クラウドで可視化されて共有し、
教員はそれをもとに適切なタイミングで助言。

学習指導



※イメージ



デジタルドリルの取組状況、配付した課題の到達度などをスタディログダッシュボードで確認。児童の学習の進捗状況等を把握し、それに応じた適切な指導につなげていく。
(児童・生徒側の視点は「ある中学生Aさんの視点」参照)

教員への支援



☆関連ホームページ
「学校におけるワーク
ライフバランスを確保
した働き方改革の推進」



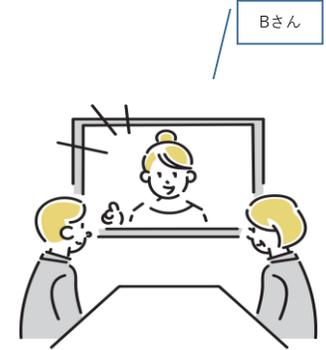
教員の業務を支援する教員業務支援員に、
プリント・資料の作成やコピー、採点の補助、
行事の準備の補助、休み時間の見守りなど、
様々な業務の支援をしてもらう。

小学校の新規卒業の教員に対しては、
その負担の軽減のため、
①学級担任をしないか／
②学級担任をする場合は
サポート教員を配置して、
授業準備や授業実施等を支援してもらう。

学級運営等



「理科」「音楽」「体育」は
教科担任制を導入し、
より質の高い授業や多面的な児童理解を促進。
また、別の教員が授業を実施している間、
自身は、その他の授業準備や授業研究等の
時間にあてることができる。

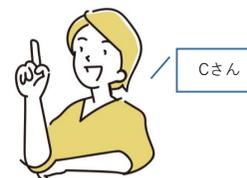


☆保幼小架け橋
プログラム
県幼保支援課
ホームページ

校区の幼稚園・保育所等と、子どもの姿を元に
教育内容を話し合い、5歳児から小学校1年生までの
カリキュラムづくりや検証を実施。

校区の幼稚園・保育所等の教員・保育者が、
お互いの授業・取組に参加・勉強会を実施し、
互いの教育内容を活かして
教育・保育の質の向上に取り組む。

03 | ある高等学校長Cさんの視点

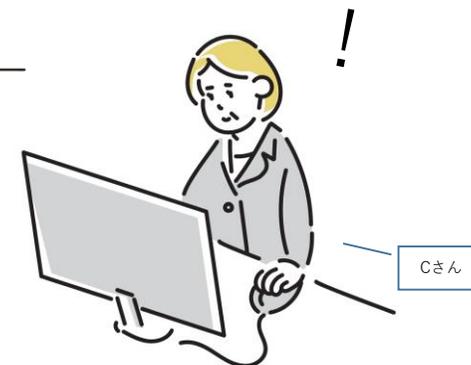


学校運営①



職員会議の場等で、
学校のスクール・ミッション、スクール・ポリシー、
学校経営計画等について
組織的に共有、振り返り。

学校の経営ビジョンを全教職員と共有。



前日の各教員の勤務時間をシステムで確認し、
勤務状況等を確認。

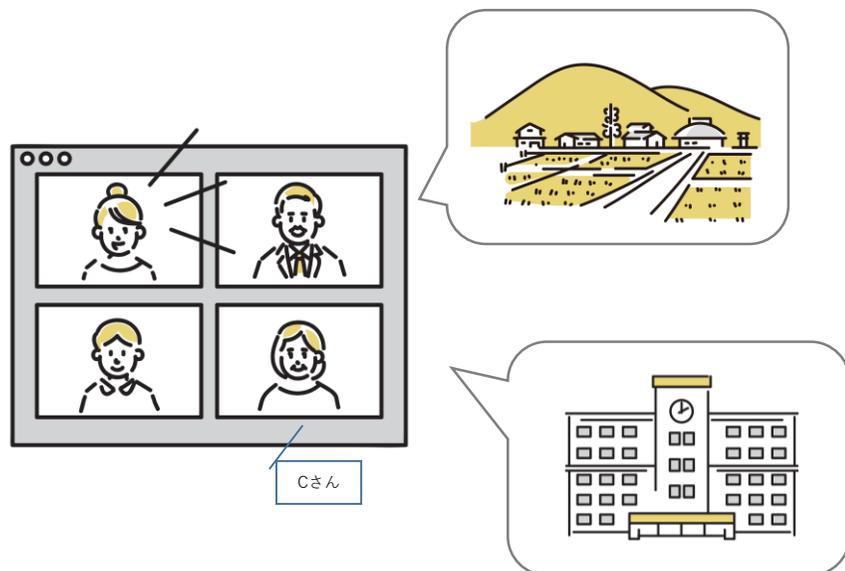
必要に応じて、教員に声掛けをしたり、
業務の整理を検討したりする。

また、朝礼の回数を減らし、
必要な事務連絡はスプレッドシートや、
校務支援システム等により随時全教職員に共有。

学校運営②



☆関連動画
「こうち留学
『おもいっきり
自分らしく』」



入学希望者数の増加に向けて、
県内の地元中学校や
県外の中学校の生徒・保護者に対して、
学校の魅力や充実した教育機会を発信・PR。
県外から高知県の高等学校に入学して学ぶ
「こうち留学」の取組による
生徒募集も実施。

定期的に学校運営協議会を開催。

「風通しのよい職場づくり」の学校運営体制や、
社会と根ざしたカリキュラムづくりなどについて
学校外や地域の視点等、
さまざまな視点からの熟議を実施。

授業



地域の状況に応じて、
教育機会に差が生じないように、
中山間の小規模高校等の
大学進学や資格取得等のニーズがある
生徒に対して、
配信センターから遠隔教育（遠隔授業等）を実施。



☆関連動画
「【学んでみた】
遠隔教育ってなんだろう。」



☆関連動画
「課長が行く！
（県立大方高等学校）
～総合的な探究の時間の
取組をご紹介します～」



課題を生徒自ら見出し、探究する
「総合的な探究の時間」の実施。
実施にあたっては、地元自治体や大学、
企業等とも連携。
引き続き、自ら設定したテーマを深掘りし、
進学や就職等につなげたい場合には、
進路指導面で学校がサポート。